

外国人高齢定住者と 地域を結ぶ為の仕組み作りに向けて ～言葉の壁を乗り越えて～

外国人労働者の受け入れが進み、外国籍住民が増加している一方、生活者としての外国人に対する支援体制の整備は遅れている。特に、外国人高齢者に対する支援体制の構築は停滞している。従来、外国人定住者に対する日本語支援は就職や医療、就学、育児など様々な生活場면을想定して構築されてきたが、介護などの場面はほとんど扱われてこなかった。

例えば、介護サービスの場合は後期高齢者、介護認定、認知症など少し考えただけでも難しい語彙が並ぶ。言葉の不自由さを抱え、情報が得られない中で高齢期を迎える定住者やその家族の不安はいかばかりであろうか。例えば介護サービスの内容をどのように伝えればいいのか、思案に暮れる。

一方、日本人も又高齢期を迎える難しさを抱えている。そもそも、介護や福祉という概念を共有できるのかという疑念も湧く。唯し、双方、ことばや文化習慣の違いはあるものの、生活体験から得た知恵の蓄積という強い共通項を有している。

本シンポジウムでは、外国人高齢者と地域を結ぶための仕組み作りに向けて、当事者や公共団体、専門家、支援者が一堂に会し、その課題や可能性について提言や助言を受け、外国人高齢者と地域を結ぶための仕組みづくりの支援の輪を広げ、具体化する指針としたい。

(この事業は平成30年度、文化庁委託事業です)

[日時] ▶ **2019年2月24日(日)**
14:00～16:00 (開場13:30)

[会場] ▶ **上智大学 2号館4階407号室**
東京都千代田区紀尾井町7-1
JR中央線、東京メトロ丸ノ内線・南北線
四ツ谷駅 麴町口・赤坂口から徒歩5分

[登壇者]

ファシリテーター

国枝智樹

上智大学文学部新聞学科助教

パネリスト

伊東和貴

(敬称略)

朝日新聞千葉総局次長

船越英一

前大和市役所文化スポーツ部参事

国際・男女共同参画課長

小野塚美宝

中田診療所デイサービス

主任生活相談員

新岡史浩

在日ラオス人協会事務局長

松本典子

かながわ難民定住援助協会理事

主催 NPO法人かながわ難民定住援助協会

共催 上智大学メディア・ジャーナリズム研究所

お問い合わせ

TEL 046(268)2655

MAIL nanmin@enjokyokai.org